

第4期那須烏山市観光振興ビジョンの概要

第4期那須烏山市観光振興ビジョン 策定の趣旨等

1 策定の趣旨

前期ビジョン等に基づいて取り組んできた施策の検証を踏まえ、本市が有する地域資源や無二の財産の連携や活用により、今後5年間に取り組むべき施策の方向性を明らかにし、交流人口や関係人口を増やした観光入込客数の回復による地域振興を図るための新たな指針を策定します。

2 位置付け

- ①本市における観光振興に関する基本的な指針となる計画
- ②那須烏山市総合計画の基本目標を達成するための個別計画
- ③国・県が策定した観光関連計画を踏まえつつ、市上位計画と整合を図った計画

3 計画期間

令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間

本市観光の現状

- 南那須町及び烏山町の合併時は、観光客入込数が80万人前後で推移していたが、リーマンショックによる景気低迷、東日本大震災による被災により、観光施設等の閉鎖などが影響し、観光客の入込み数は40～50万人程度に落ち込んだ。
- 令和元年東日本台風による被災、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2(2020)年の観光客入込数は過去最低の20万4千人まで減少した。
- 新しい生活様式を踏まえたウィズコロナ、アフターコロナを視野に経済活動等が再開され、令和3(2021)年の観光客入込数は25万2千人まで回復した。
- 観光客宿泊数については、合併時に6万人前後で推移していたが、観光客入込数と同様に減少しており、令和2(2020)年の観光客宿泊数は過去最低の2万4千人まで減少した。一方、コロナ禍にあってアウトドア志向の高まりからキャンプ場利用者や市内ゴルフ場の宿泊施設利用が一定程度あり、2万9千人まで回復した。

本市観光の課題

- (1)滞在型観光への転換
 - ①本市の観光は、目的地というより通過地点、ちょっと立ち寄り地点という位置付け
 - ②東日本大震災の被災による宿泊施設の閉鎖、市内にある旅館はビジネス利用が大半
 - ③地域資源の高付加価値化などを図った「体験型」「交流型」の要素を取り入れた滞在型観光への転換
- (2)受入環境の整備
 - ①パンフレット等の多言語対応、案内板の設置、公衆無線LANの整備、公衆トイレの改修、二次交通の充実等による満足度の高い環境の整備
 - ②老朽化した既存観光施設の計画的な更新による施設利用者の利便性の向上
- (3)関係団体との相互連携及び推進体制の確立
 - ①観光協会をはじめNPO、市民団体等との連携による観光地域づくりの推進

目指すべき将来像

地域資源×市民力＝新たなスタイルの観光・交流のまち那須烏山市

～「いいね」と「いいな」が見つかる観光地域づくりを目指して～

※市民力とは、郷土への愛着心を持って地域資源を共有するとともに、市民活動や市の政策施策など様々な場面に参画し、各主体との連携協力のもと地域資源の情報発信や有効活用を図る力をいう。

第4期観光振興ビジョンの基本的方向

前期観光振興ビジョンからの継続

- (1)まちなか観光の推進
 - ①地域資源の掘り起し・磨き上げ・周遊ルート設定
 - ②観光周遊ナビシステムの活用(デジタル観光の推進)
- (2)烏山の山あげ行事の積極的な情報の発信
 - ①ホームページやSNS機能を使用したPR
 - ②山あげ祭まるわかりサイトの再構築・運用
- (3)烏山城跡の活用
 - ①積極的な観光PR
- (4)観光ガイドの育成
 - ①観光ガイド担い手の育成、既存団体の活動支援
- (5)観光施設の機能強化
 - ①案内看板の修繕・更新
 - ②公衆無線LAN(Wi-Fi)等の整備充実
- (6)サイクルツーリズムの推進
 - ①サイクルマップの作成・PR
 - ②サイクルスタンドの設置(支援)

基本方針

- ①観光コンテンツづくり
 - 地域資源の高付加価値化・パッケージ化
 - 新たな日常やSDGs持続可能な17の目標を踏まえたもの
 - 着地型観光の実現、稼ぐ観光の推進
 - 観光拠点とのネットワークを多様な主体と連携
- ②デジタルやアナログの調和のとれた観光プロモーション
 - 環境変化に即応した動画制作、SNSの活用、パンフ作成
- ③観光施設の整備充実等による利便性の向上
 - 老朽化した観光施設の計画的な更新
 - 多言語の観光案内板の設置、公衆無線LAN(Wi-Fi)の充実
 - 芝管理、除草等の適正な維持管理
- ④二次交通網の充実による市内周遊
 - レンタサイクルやサイクルスタンドの設置充実
 - サイクルスタンドの設置支援、サイクルツーリズムの推進
- ⑤人材育成・体制づくり
 - 観光ガイド団体の人材育成、効率的な体制づくり支援
 - 関係団体と連携した新たな観光地づくりの推進

基本戦略

- ①歴史・伝統・文化を活かした観光の振興
 - オオガネクジラ化石をはじめ海進海退の状況を残す数々の露頭、国県市有形無形文化財の活用、JR烏山線、神社仏閣、近代化遺産、メグロバイクなどの地域資源の活用
- ②五感で楽しむ観光の振興
 - 伝統漁法(ヤナなど)やアユ釣り、カヌーなどのアクティビティ、ゴルフ場、景勝地、サイクリングコース、地酒、和紙漉き体験、観光果樹園、八溝そば、ローカルフードなど五感で楽しむ地域資源の活用
- ③おもてなしの観光の振興
 - 観光案内板の更新や設置、インバウンド対応の情報発信、観光施設における公衆無線LAN(Wi-Fi)等の整備充実、観光施設・景勝地の適正な維持管理、観光ボランティア団体の活動や観光振興を担う人材育成の支援などおもてなしの醸成

アクションプラン

- (1)基本戦略1 歴史・伝統・文化を活かした観光の振興
 - ①烏山城跡の活用と情報発信
 - ②メグロの聖地那須烏山事業の積極的な支援
 - ③その他基本方針を踏まえた取組み
- (2)基本戦略2 五感で楽しむ観光の振興
 - ①サイクルツーリズムの推進
 - ②着地型観光の効果的な情報発信
 - ③その他基本方針を踏まえた取組み
- (3)基本戦略3 おもてなしの観光の振興
 - ①多言語対応の観光案内板の設置、公衆無線LAN(Wi-Fi)等の整備充実
 - ②施設・景勝地の適正な維持管理
 - ③観光協会の事業推進、観光ボランティア団体の活動及び観光振興を担う人材育成の支援
 - ④その他基本方針を踏まえた取組み